

あきもと司

衆議院議員候補 国土交通副大臣

日本を守る!

自民党 公認

比例代表も 自民党へ



あきもと司しかげの決意

日本を守る!

アベノミクスの実施により、約20年続いたデフレから、デフレでない状況を作ることができ、所得・雇用・為替等の面で日本が元気になって参りました。

人口減少社会に突入した日本が、今後さらに名目GDP600兆円を目指し、「豊かさ」を失わないためには、生産性の向上、そして「人づくり」を重視していかなくてはなりません。

成長戦略の一つとして、観光立国を更に推進し、雇用等の安定を図ります。現在、日本を訪れる外国人観光客は約2,400万人に達しました。今後2020年までに4,000万人、そして2030年には6,000万人の政府目標を達成し、世界の富裕層を取り込むためには政策が必要であり、受け入れ態勢の強化や、訪日プロモーション活動等が必須となります。

一方、全産業に共通する問題として、人手不足が深刻化しております。今後は外国人労働者に対する雇用の拡大を図るべく、留学生や就学生に対しても門戸を広げ、雇用機会の拡大を図ることが必要であると思われま。安全保障面では、北朝鮮の挑発的行為を断じて許すわけにはいきません。国際社会と連携して圧力をかけて参ります。今後も抑止力を高め、外交力を強化して参ります。一方、多国間との交流は常に絶やさず、議員外交を行って参ります。

以上、私あきもと司、身を賭して日本を守り抜く決意です。

Profile

昭和46年東京都生まれ（本籍：江東区）秋元家は、江戸時代より昭和中期まで、現在の江東区毛利に居を構えていた。

- 平成8年：大東文化大学経済学部卒業
 - 平成16年：第20回参議院選挙初当選（参院1期）
 - 平成19年：防衛大臣政務官就任
 - 平成24年：第46回衆議院選挙当選（衆院1期）
 - 平成26年：第47回衆議院選挙当選（衆院2期）
自民党 内閣部会長就任
 - 平成27年：自民党 国土交通部会長就任
 - 平成28年：衆議院 内閣委員長就任
 - 平成29年：国土交通副大臣 兼 内閣府副大臣 兼 復興副大臣 就任
- その他役職
 - 大東文化学園理事・評議員
 - 東京福祉大学客員教授
 - 日本玩具協会 顧問
 - 東京都ドッジボール協会会長
 - 日本サーフィン連盟顧問
 - 深川消防団員（第八分団）

日本を守る!

生産性の向上

ものづくりからサービス業までIoT、AI等を中小企業等にも導入し、効率化を図ります。

一方、付加価値を高め、一人ひとりの所得アップを支援して参ります。

安全保障政策の強化

日米同盟の深化等で抑止力を高め、外交力を強化する一方、多國間の交流は常に絶やさず、議員外交を行って参ります。

また、憲法改正への国民の理解を得るため、説明責任を果たして参ります。

世界の海上保安機関のトップ会談にて



全世代型の社会保障

医療・介護・福祉等の財源を確保しつつ、身体の早期の「気づき」を奨励し、健康寿命を延ばして参ります。

一方、幼児教育や高等教育の無償化の拡大、少子化対策等、「人づくり」を強化して参ります。



地下鉄8号線延伸へ加速 (豊洲 - 枝川 - 東陽町 - 住吉)

この事業の実現には、東京メトロが事業会社を担うことが現実的であります。国・東京都・東京メトロがさらに連携を強め、東京メトロ株の売却を図り、財源の確保を目指します。

高架下遊休地転用に尽力し、保育園を開設 (深川冬木)

子育て支援の強化



待機児童解消のため、公共用地を更に利活用し、施設の増設を推進します。また、企業型保育への理解を高め、必要な措置を支援して参ります。

首都直下型 地震対策の強化

荒川河川の堤防点検



高潮対策、堤防、水門の耐震化等の河川整備を加速し、併せて建物・施設の耐震化も推進して参ります。

東京2020オリンピック・パラリンピックを成功へ

3年後に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックを成功に導きます。江東区では最多の19競技を実施し、そのレガシーを未来に繋げます。

江東区を 元気に!

